

## 釧路白糠工業用水道事業の紹介

### ○事業の主旨

釧路・白糠工業団地は、産炭地域振興対策の一環として、北海道釧路市及び白糠町に工業の導入による地域経済の振興を図るため、(独)中小企業基盤整備機構(旧地域振興整備公団)が事業主体となり造成した。(造成開始：昭和46年度、分譲開始：昭和48年度、造成終了：昭和51年度(うち3工区粗造成))

釧路白糠工業用水道は、釧路・白糠工業団地の企業に工業用水を供給することを目的として、平成3年度に事業主体である釧路白糠工業用水道企業団(釧路市・白糠町で構成される一部事務組合)を設立した。

### ○事業の経緯

工業用水の水源確保については、北海道が進める庶路川総合開発事業(庶路ダム建設事業：目的：治水及び工業用水)に平成3年度共同事業者として参画し、産炭地域小水系用水開発事業費補助事業に平成4年度採択された。

工業用水道専用施設については、平成3年度から平成13年度で調査設計、施設建設を終了した。

平成14年度からは、庶路川河川水を水源として暫定豊水水利権を取得し、日量2,439m<sup>3</sup>の工業用水を一部供給開始し、現在はダム建設が平成16年度で全て完成したことから、平成17年度より供給計画(日最大給水量11,160m<sup>3</sup>)に基づき、本格給水を開始したところである。

現在の給水状況は、企業10社に日量契約水量3,350m<sup>3</sup>を供給している。

### ○ユーザーの概要

(平成20年11月末現在)

| 業種 | 給水件数 | 契約水量 (m <sup>3</sup> /日) |
|----|------|--------------------------|
| 食品 | 7    | 3,100                    |
| 化学 | 3    | 250                      |
| 計  | 10   | 3,350                    |

### ○工業用水道施設の概要

釧路白糠工業用水道は、庶路川の河川伏流水を河床下2mの集水埋渠(巻線スクリーン管)にて取水し、導水ポンプ井まで自然流下させ、導水ポンプにより浄水場内に導水している。

浄水場では、薬品注入、凝集沈殿、急速ろ過処理した水を、送水ポンプにより、配水池(PCタンク(1,000m<sup>3</sup>×2池))へ送水している。送水管は、管径φ400mm、延長約3.7kmである。配水池から自然流下により給水区域である釧路・白糠工業団地に給水している。配水管は、管径φ100～450mm、延長約14.0kmである。

### ○事業の特徴

本工業用水道の特徴は、給水先の企業に水産加工業等、食品関連企業が多いことから、水質を上水道の基準に適合させており、低料金で良質な工業用水を安定供給していることである。

### ○企業団(白糠町)のホームページアドレス

<http://www.town.shiranuka.lg.jp>

### ○工業用水道給水区域図

